

医療分野における人材育成

浅原 利正

前広島大学長／広島県病院事業管理者

学術研究の進歩は目覚ましく、中でも IT 技術の進歩は人類社会のグローバル化を加速させているといえます。それは医療分野においても例外ではなく、医学・医療の進歩はかつてないほどの勢いで加速しています。

医療環境の整備は、先進国においては国の安定をもたらし、発展途上国においては国の発展が約束されます。それほどの重要な分野で我々医療人は活動していることを認識しなくてはなりません。

更に我が国においては、他の国に先駆けて加速する超高齢化社会に直面し、なおかつ医学・医療の進歩にも対応していかななくてはなりません。多様性を増す21世紀人類社会での医療の有るべき姿は、一人ひとりにあった個別化医療を構築していくことです。これまでの「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換、チーム医療の推進、包括ケアシステムの構築など、重要課題を解決していくためには医療人一人ひとりが自覚を持って取り組まなくてはならないと思います。

医学の進歩は臨床工学士という新しい、しかも重要な任務を帯びたスタッフを生み、高度医療を実現する中でその存在価値は高まってきています。人類社会の中で、医療という重要な機能の中での臨床工学士の育成、あるべき姿について述べてみたいと思います。